

平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

北山本小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年10月27日（火）午後7時30分～9時

開催場所：福万寺公民館

参加者数：41名（男性19名、女性22名）

市出席者：田中市長、原副市長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、中原教育長

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 北山本小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>① 地域の安全並びに学校連絡網の構築について</p> <p>○ 緊急時の連絡網の件ですが、八尾市内での事件が報道されて保護者へ連絡を取ろうとしましたが、小学校には電話が一本しかなく連絡を取ることが困難でしたし、新型インフルエンザの時の対応も同様でした。そこで、改善策として携帯電話のメールによる連絡網の整備や、学校にインターネット回線を引き保護者へメールを一斉送信することができるシステムを構築していますので、できるだけ多くの保護者に参加してもらいたいと思います。学校からの電話連絡と携帯メール連絡網を充実させる為、学校に電話回線をもう一回線増やしていただきたいです。</p> <p>○ 八尾市以外でも携帯を使った緊急連絡網を導入しているところは多くありますが、八尾市内でも同様に携帯電話のメール機能を利用した取り組みをしておられる学校があれば教えてほしいです。</p>	<p>○ 現在、各学校にはファックス回線を含め2回線導入していますが、校園長会からの話しもあり、検討に入っているところです。また、その中で携帯電話連絡網の話しもありますので、いろいろな角度から連絡網の整備が必要と考えています。</p> <p>また、子ども達の安全を守るこれらの取組みに安心・安全のための基金に申込みいただき、ぜひ活用して今後も取組みをすすめていただきたいと思います。</p>	<p>○ 学校の電話回線の増設については、現在検討を行っているところです。</p> <p>また、携帯電話（メール）を活用した連絡網については、速報性に優れていると認識しており、更に検討を進めていきたいと思います。なお、携帯電話（メール）を活用した連絡網については、現在北山本小学校・高安西小学校・南山本小学校・用和小学校の4校でPTAが主体となって導入されております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>② 校区の区割りについて</p> <p>○ この北山本地区では山本小学校に通っている子ども、桂地区から北山本小学校に通っている子どもがいる状況です。こういった現状をどのように考えておられますか、きちんとした区分けをしてほしいです。</p>	<p>○ 過去に学校を分けたときに、多くの学校が600人前後で区割りされた経緯があります。昨年度から、小学校と中学校の適正規模のあり方について庁内で議論をしているところです。今年度は小・中学校適正規模等審議会において審議していただいております、今年の12月をめどに原案、来年の8月位には答申をいただけるものと考えています。校区の問題以外にも自治振興委員会や民生委員会等に申し入れをし、合わせて区割りの検討をしていきたいと考えています。慎重に丁寧にご理解いただけるように区域を作っていくしたいと思います。</p> <p>○ 学校の適正規模を考えたときに、桂小学校は全学年が1クラスです。集団教育には少なくとも、1学年2クラスなければならないと思いますし、一方で、小学校で1,300人を超える学校もありますので、八尾市全体の中で適正規模を検討していきたいと考えています。</p>	<p>○ 小・中学校については「小中学校適正規模等審議会」で、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を進めているところです。審議会では、市立小・中学校の学校規模等の適正化についての基本的な考え方、および適正化の方策等について平成22年8月に提言を行う予定です。</p>
<p>③ たばこの路上喫煙について</p> <p>○ たばこの路上喫煙についてのアンケートを提出しましたが、今後路上喫煙についてどのよ</p>	<p>○ 地域で清掃活動をしていただいている方々からは、たばこのポイ捨てが多いと聞いていま</p>	<p>○ 路上喫煙の防止に関する条例につきましては、平成21年8月から9月にかけて実施し</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>うに考えているのか伺いたいです。</p>	<p>す。喫煙はマナーをもって吸うのが原則だと考えています。今年度、マナーをもった喫煙のための条例を策定することにしていまして、内容については現在検討しているところです。来年の3月市議会には提案できるよう考えています。色々なことを想定しながら、八尾市全域での路上喫煙の防止に向けた取り組みをすすめていきたいと考えています。</p>	<p>たアンケート調査の結果等を踏まえ、現在策定作業を行っており、同年12月の下旬より、条例案に対する市民の皆様からの意見をいただいた後、平成22年3月議会への提案を予定しています。</p> <p>○ 路上喫煙のマナーは市民の皆様とともに推進することが大切であると考えておりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>④ 個人情報保護法について</p> <p>○ 現在小学校では、クラスの連絡網がない状態です。個人情報保護法は本来このような目的で制定されたのではないはずなのに、いつのまにか過剰な対応になっています。具体的に制限などがあるのか教えてほしいです。</p>	<p>○ 法律の中に厳しい制限はないと思います。学校現場の状況を確認しながら、市が追認・管理することで対応できないかと考えます。ただ、学校のクラスの連絡網であればみんなの合意を得て作っていいのではないかと考えます。</p>	<p>○ クラスの連絡網につきましては、多くの学校において、保護者の合意のもとに必要最小限の連絡網を作成しております。中には、連絡網に掲載することを拒否される方もおられることから、学校から直接連絡するケースもあります。</p> <p>○ 平成17年に施行された個人情報保護法では、5000人未満の個人情報を取り扱う団体は、営利・非営利にかかわらず法の適用除外となっており、名簿を作成すること自体はなんら問題がありません。しかし、法施行を契機に市</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
		<p>民の個人情報に関する意識が高くなり、市条例でも市や市民の責務として、個人情報の適正な取り扱いを求めています。</p> <p>学校やPTAが作成するクラスの名簿作成にあたっては、学校教職員及びPTA会員等が個人情報の保護について見識を持つとともに、その利用目的と利用方法等についてきちんと保護者に説明するほか、記入項目の簡易化など、保護者の方の協力を得られやすいように配慮と工夫をすることも一つと考えます。</p>
<p>⑤ 路上駐車について</p> <p>○ 最近特に目に付くが路上駐車が多く、取り締りがされているのか伺いたいです。</p>	<p>○ 基本的に路上駐車を取り締まりは警察の問題ですが、警察とも連携をしています。こういった問題に対して、路上見守り隊などを結成して活動いただくとか、地域別計画において検討いただくのも良いのではないかと思います。</p> <p>○ 現在、八尾警察署管内ではパトカーは5台しかありません。また、交番も一つつくと交代などの関係から、警察官は3人3交代で9人いるわけです。しかしながら、治安を守るのは人であり、大阪府も空き交番を埋めたいとの考えで</p>	<p>○ 自動車の駐停車違反の取締り区域であれば、警察に対して取締りの要望をいたします。</p> <p>また、八尾市の担当課では、迷惑駐車対策として地域がパトロールを実施される際の啓発物を提供いたします。さらに啓発看板等の設置についてもご連絡いただければ検討いたします。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
	<p>あります。</p> <p>また、市は車6台をエコカーに買い換えますが、白と黒の配色で公用車として使ってみることも検討しています。今後は注意喚起に向けて路上駐車等にも警察と協議をして対応していきたいと考えています。</p>	
<p>⑥ 中学校の生徒数について</p> <p>○ 桂中学校の生徒はなぜ少ないのでしょうか。在校生の数字をみたら差がありますが、桂小学校から桂中学校へ何人ぐらい行っているのでしょうか。生徒数が少ないのは学校に魅力がないからなのでしょうか。</p>	<p>(中学校校長)</p> <p>○ 桂小学校から桂中学校へはほぼ100パーセント進学しています。北山本小学校から私学へ進学している子どもはここ数年ほとんどいません。</p> <p>○ 桂小学校区は公共施設や公共空地が多いため人口が増えない要因にもなっていると思います。他の校区でも調整区域などの要因があって新しく家を建てることができない所もありますので、土地利用について見直しを考えています。これからも八尾市全体のまちづくりを考えたいと思っています。</p>	<p>○ 桂中学校の生徒数は、入学する桂小学校・北山本小学校ともに規模の小さい学校であることから、他校に比べて少ない状況にあります。また、桂小学校から桂中学校への入学率は、この3年間の平均で97.2%となっております。</p>
<p>⑦-1 地域での子ども教室について</p> <p>○ 府と八尾市と協働で地域子ども教室を6年間やっていますが、今般国政レベルで政権交代</p>	<p>○ 私たちも子どもの居場所づくりは非常に大切だと考えています。政権が交代しても子どもに手</p>	<p>○ 本市次世代育成支援行動計画において、地域で支える、地域が主体の子育てのしくみづく</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>がありましたが、今後子どもの居場所づくりについてどのように考えているのか伺いたいです。</p> <p>⑦-2 北山本小の体育館について</p> <p>○ 校舎は建て替えられましたが、体育館は、防災拠点にも関わらず雨は漏る、コンクリートはバラバラ落ちるような状況です。どのような計画で改善していくのか伺いたいです。</p>	<p>厚い施策が展開されていくものと理解しています。府も子ども施策には力を入れるとの事です。我々も八尾の子ども達を元気にするための施策を推進していくように考えています。</p> <p>○ 八尾市の学校施設の耐震化は大阪府内でも遅れていまして、今年度末で24%ぐらいになる見通しです。来年度までに総ての耐震化診断は終えて、全体の耐震化計画を策定していきたいと考えています。まず、体育館については災害発生時の避難所でもありますので、一番先に耐震化に向け取り組みたいと考えています。二次診断では北山本小学校体育館は補強工事不要となっていますが、ご指摘のような状況でしたら手</p>	<p>りを基本方向の一つと位置づけており、住民が主体となった子どもの居場所や遊び場づくりに対して支援を行っております。</p> <p>○ 放課後子ども教室推進事業は、学校を活用して地域のボランティアの方々の参画・協力を得ながら、子どもの安全・安心な活動場所を確保するもので、放課後や週末においてスポーツや文化活動、地域住民との交流活動等を行っています。現在 20 小学校区で実施しておりますが、今後も未実施の地域や学校に働きかけを行い、安全・安心な子どもの居場所づくりに努めてまいります。</p> <p>○ 耐震診断を終えるまでは補修工事で随時対応してまいりましたが、今回の診断の結果、補強工事不要となりましたので、今後は屋根の改修工事に向けて関係各課と協議してまいります。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
	直しなどの対応を考えたいと思います。 雨漏りは如何なものかと考えますので、確認をしたいと思います。	
<p>⑧ 警察官の各戸調査について</p> <p>○ 10月21日午後に警察官が高砂団地各戸で住居の確認ということで、住所・氏名・年齢について居住者全員の情報を知りたいとの事で調査に廻られていました。災害や火事等に活用するとのことでしたが、本当に警察官なのでしょうか、また市とも関係しているのでしょうか。</p>	<p>○ 市との関係はないと思います。警察は地域で調査をすることがあると思いますが、一度警察へ確認をとって、お返事をしていければと考えます。</p>	<p>○ 市ではそのような確認をしておりませんが、八尾警察署に確認しましたところ、この調査は、災害や事故などへ迅速に対応するために警察署独自で行っているとのこと。交番が担当する地域住民の実態を把握するために実施しています。この調査は捜査のためではありませんので、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いしますとの回答がありました。</p>
<p>⑨-1 老人保健事業の予算について</p> <p>○ 平成21年度老人保健事業特別会計の予算が減っています、何故でしょうか。</p>	<p>○ 老人保健事業は後期高齢者医療事業に移行されましたので全廃になる予定です。今回の予算は移行期間でその予算が残っているものと思います。</p>	<p>○ 老人保健制度については、後期高齢者医療制度の創設・施行に伴い、平成19年度末で終了となりましたが、平成20年度以降3年間は、月遅れ請求の処理等のため老人保健事業特別会計を存続することとなっています。ただ、老人保健制度自体は終了しておりますので予算は年々減少の傾向であり、平成21年度当初予算につきましても、平成20年度当初予算と比較して、予算規模は大きく減少したものです。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>⑨-2 後期高齢者医療制度について</p> <p>○ 政権が交代して後期高齢者医療制度がなくなると聞いていますが、どうなるのでしょうか。</p>	<p>○ 民主党マニフェストでは廃止となっていますので、平成23年度には後期高齢者医療制度を見直したいというように理解をしています。しかし、どのような形になろうと、みんなが安心して医療が受けられるような制度設計をしていただきたいと考えています。また、これらの考え方を全国市長会などを通じて発言していく考えです。多様な保険制度がある中で、大阪府下で一本化するとか、いろんな制度もある中で将来的には国で一本化することも検討すべきではないかと考えています。</p> <p>○ 年金についても基本的には一本化していくことによって、すべての国民が平等に同じサービスを受けることができるような仕組みも検討すべきかと思えます。</p>	<p>○ 新政権によりますと、後期高齢者医療制度は廃止し、1期4年の中で新たな制度に移行するとされています。移行までの手順としては、まず現行制度の様々な問題点の解消を図り、次に、国民の納得と信頼が得られる新たな制度に移行するというものです。新たな制度の具体的なあり方についての検討を行うため、厚生労働大臣の主宰により、高齢者の代表、関係団体の代表、有識者の19名からなる「高齢者医療制度改革会議」が設置され、11月下旬に1回目の会議が開催されたところです。今後も様々な意見をいただきながら具体的な制度設計の議論が進められ、平成25年4月に新しい高齢者医療制度の施行が予定されています。本市としましても、市民の方々に負担や混乱が生じることのないよう国や府に対して求めるとともに、国の動向を注視してまいりたいと考えています。</p>
<p>⑨-3 サービスの平等について</p> <p>○ 国民年金について、働いて納めている人とそうでない人が同じサービスを受けることができるのはおかしいのではないのでしょうか。</p>	<p>○ 多く納めた人とそうでない人が受けるサービスの比率が変わってくるのは当然です。厚生年金と国民年金等の金額に大きな差があるわけで、</p>	<p>○ 国民年金に関して納付した人とそうでない人では将来の年金額が変わります。さらに納付月数が25年を満たしていない場合は年金受</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>⑨-4 介護保険について</p> <p>○ 介護保険ができて、みんなで高齢者を支える仕組みは進んできていると思いますが、施設に入ろうと思っても費用が高額です。お金のある者とない者に不公平感を感じます。どのような形で制度を運営していくのか教えてください。</p> <p>⑨-5 生活保護について</p> <p>○ 生活保護の受給が12万円くらいで国民年金が7万円くらいですが、制度自体がおかしい</p>	<p>将来は一定同じ制度にしていく必要があると考えています。</p> <p>○ 介護保険制度の運営は市町村で担っています。先ほどの多様な保険制度を一本化していくのも選択肢の一つとは思いますが、今日、老人保健施設や特別養護老人ホームなど、色々な施設がある中で、利用者が事業者を判断することも必要ではないかと思っています。</p> <p>○ 制度そのものに問題があると考えていますし、不公平感を感じないと思っています。生活保護</p>	<p>給権が発生しません。また、家庭等の事情により納付が困難な場合、免除申請の制度があり、免除の承認を受けると納付月数及び年金額に反映します。</p> <p>○ 介護保険サービスにつきましては、サービスに係る費用の1割を利用者にご負担いただいております。しかし、1カ月の利用者負担が所得段階ごとに定められている限度額を超えたものについては、その超過分が利用者の申請により給付されます。また、施設サービスに関しましては、サービスに係る費用の1割以外に食費、居住費、日常生活費等をご負担いただきますが、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老健）、介護療養型医療施設及び短期入所生活（療養）介護につきましては、低所得者に対して所得段階に応じ、食費、居住費の負担が一定の限度額までとし、残りの費用額との差額について利用者の申請により給付されます。</p> <p>○ 生活保護の基準については、国において年齢や人数等、世帯の状況に応じて定められてお</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>のではないのでしょうか。</p>	<p>の場合、市の一般会計で100億円の歳出で、市はそのうちの25%を負担しますので、25億円負担しなければなりません。相互扶助の考えで守っていかなければなりません。一方で、不正受給に対しては徹底的に対応していくよう考えています。暴力に対しても大阪府警とも連携を図ってあらゆる角度から対処していきたいと考えています。</p>	<p>ります。年金制度との関連ですが、今後も社会保障制度における課題として、国等において検討がされていくものと考えておりますが、最後のセーフティネットとしての生活保護の役割を認識し、引き続き、適正な保護の実施に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>⑩ 年金について</p> <p>○ 国民年金や共済年金等、いったい何種類くらいありますか。どこからどこまでを一本化すると考えていますか。</p>	<p>○ 基本的には全部と考えています。議員年金や共済年金、また税金の入っているもの入っていないものいろいろありますが、全部を共有化・一本化して税を投入してすべての人に還元される仕組みが必要と思います。</p>	<p>○ 一般的に大きく分けて共通の基礎年金である国民年金と厚生年金保険、共済年金の3種類です。</p> <p>過日行われた衆参厚労委員会において厚生労働大臣の所信表明のなかで全ての年金制度の一元化をしております。</p>
<p>⑪ 予防注射について</p> <p>○ インフルエンザ予防注射（季節性）をうけたのですが何処へ行けばよいのでしょうか。</p>	<p>(病院事業管理者)</p> <p>○ 季節性のインフルエンザ予防注射は医療機関に行けば対応してくれると思います。</p> <p>今年は季節性もワクチンが少ない状態ですのでかかりつけの医療機関に相談してはどうでしょうか。</p>	<p>○ 季節性のインフルエンザ予防接種は、原則65歳以上の方については、予防接種法に基づくワクチン接種となるため、八尾市の事業として行っております。八尾市と契約して高齢者インフルエンザワクチン接種事業にご協力いただいている市内医療機関（保健事業案内等でご案内しています。）で接種いただくこ</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
		ととなります。上記以外の方については、任意接種となるため、かかりつけの医療機関にご相談いただくこととなります。
<p>⑫ 歯科教育について</p> <p>○ 学校教育の中で、歯科に関する教育はどのようにされているのでしょうか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>○ 保健体育の授業の中で、健康の一つとしてやっています。主に保健体育の先生、家庭科の先生、養護教諭が中心にあたり、全体的には担任の先生がみえています。歯磨き指導も学校によって異なりますが歯科衛生士により実施しています。</p>	<p>○ 学校園歯科医による歯科検診を実施し、むし歯の早期発見等、口腔全般の健康管理を行っています。また、子ども達の歯の健康保持に対する関心を高めるため、八尾市歯科医師会の協力を得て、市立小学校3年生の全学級にブラッシング指導を実施しています。</p>
<p>⑬-1 中国語の通訳について</p> <p>○ 現在学校で中国語しか話せない保護者向けに翻訳をしてもらっていますが、学校に通訳者を常時配置してもらえませんか。</p> <p>⑬-2 外国語について</p> <p>○ 外国人の保護者たちは日本語を覚えられますでしょうか。また、私たちに外国語を教えて</p>	<p>○ 現在、八尾市には47カ国、約6,900人の外国人市民が居住していますが、言葉の壁でコミュニケーションが取れないといった外国人市民のために市役所に通訳を配置しています。また、ホームページも5ヶ国語対応にしていますし、学校等にも行けるように考えていきたいです。地域的に見て外国人市民が多いところには優先的に配置をしていくことも検討していきたいと思っています。</p> <p>○ 外国人の保護者の方たちも、日本語の習得は程度の差はあっても可能だと思います。また、日</p>	<p>○ 現在、日本語指導を必要とする児童生徒への日本語指導講師の派遣及び外国にルーツを持つ児童生徒のアイデンティティの保持伸長を図る取組みへの指導者派遣等、在日外国人教育の推進のため、一定の予算措置を講じるなど教育条件整備に努めてきたところです。今後も学校教育活動への支援を実施したいと考えていますが、通訳の常時配置は制度上、困難であると考えます。</p> <p>○ (財)八尾市国際交流センターでは、外国人市民支援として、「日本語交流」事業を実施</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>もらったりすることはできないのでしょうか。</p>	<p>本人も外国語を学んでいくことも可能だと思います。</p>	<p>し、市内在住、在勤、在学の外国人市民等を対象に、ボランティアの協力も得つつ、日本語学習をサポートしながら日本語で交流する場を提供しています。</p> <p>また、国際交流センターでは、国際交流促進のため、さまざまな外国語の語学教室も実施しています。</p> <p>○ 高砂日本語教室では、中国帰国者等の日本語習得の支援を行っています。また、安中識字教室においても一部外国人の方々が日本語習得のために学んでおられます。今後とも日本語習得の支援を行いたいと考えています。</p>
<p>⑭ 八尾市の適正職員数について</p> <p>○ 八尾市の職員数は多いのか少ないのか市長はどのように考えていますか。</p>	<p>○ 現在、八尾市の人口は約273,000人で市職員は2,200人ぐらいです(消防職員や医療職も含む)。事務職全体としては、年々50人ぐらい減っています。八尾市集中改革プランに基づいて職員数を削減していますが、本市では大幅にこれを達成している状況です。一方これ以上減らしますと、市民サービスの低下にも繋がりますので、今後はバランスよく職員構成を考えていかなければならないと考えています。</p>	<p>○ 府下各市の一般行政部門の職員数を比較した場合、人口千人あたりで、本市は府下平均と同じ4.3人であり、全体として、適正な職員体制となっていると考えており、今後ともその適正化につとめてまいります。</p>

